事例No.	2671
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	能登丼事業協同組合

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・歳入確保

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

能登丼事業協同組合

出典

平成30年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

能登丼事業協同組合　石川県穴水町

地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　観光振興・交流　産業振興

概　要

過疎化が進む奥能登の活性化、活力維持のため、県、奥能登２市２町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）、民間事業者等で構成する奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会が発足し、地域資源の掘り起こし、交流人口の拡大を目指している。

食、風景等をテーマにプロジェクトに取り組む中から、奥能登地域の新しい地域ブランドとして「能登丼」を開発し、平成19年12月から能登丼の定義を遵守し、認定を受けた飲食店で提供を開始した。平成22年12月に販売店舗による「能登丼事業協同組合」を結成し、「能登丼」ブランドの向上に取り組んでいる。



【全国丼サミットでの能登丼の販売】

評価された点

・奥能登の地域資源をふんだんにいかした能登丼を展開する事業。年間１億円以上の売り上げを達成し、地域ブランドとして定着している。地域資源を再認識し、観光、交流人口増大に貢献していることは全国の手本ともなる取り組みである。
・実践的な地域ブランドが身を結び、さらに売り上げを作り出した素晴らしい事業である。この事例のような、稼げるふるさとづくりに今後大いに期待したい。
・平成22年12月に販売店舗による「能登丼事業協同組合」を結成した「能登丼」ブランドの向上に向けた取り組みは経営として成り立っている本格的な活動として評価される。
・能登丼の売り上げが大きく伸びており、観光客の人気を集めて経済効果を生み出していることがすばらしい。



【能登丼を提供する店主たち】